



2026年4月13日

各位

会社名 リケンNPR株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 前川 泰則
(コード番号: 6209 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行理事 経営企画部長 吉川 健
(TEL. 03-6899-1871)

国内の素形材事業の一部生産終了に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、素形材事業（鋳鉄部品）の一部製品に関する国内生産を終了することについて決議いたしましたのでお知らせします。

1. 生産終了の理由

当社は、第一次中期経営計画において『事業ポートフォリオ改革』を中期経営方針のひとつとして掲げており、事業のポートフォリオ見直しと経営資源の再配分を進めております。

当社事業の1つである素形材事業は、主として自動車・産業機械向けにステアリングナックル・ハウジング、カムシャフト等を生産・販売しております。国内自動車生産台数の減少に伴い素形材事業の需要は減少傾向にあり、特にステアリングナックル・ハウジングについては鋳鉄からアルミへの材料置換や海外品への切り替え等によって、将来的にも更なる需要減少を余儀なくされる見込みです。

加えて、ステアリングナックル・ハウジング等の生産設備については老朽化により生産効率の低下と補修費用の増加が著しい状況となっております。特に補修費用については、昨今の資材費等の高騰で増加の一途を辿っており、損益的にも厳しい状況が続いております。

素形材事業の採算性改善に向けて様々な施策を講じてまいりましたが、不採算の状況が継続し今後も採算改善が見込めないことから、2027年9月をもって、素形材事業におけるカムシャフト以外の国内生産を終了することを決定いたしました。

2. 生産終了の概要

(1) 生産終了の内容

国内で展開している素形材事業のうち、カムシャフト以外の製品（ステアリングナックル・ハウジング、他足回り部品、油圧部品など）

※鋳造カムシャフトの国内生産につきましては、今後も従来通り継続いたします。

※インドネシアの連結子会社であるパカルティリケンインドネシア社において営んでいる素形材事業につきましては、今後も従来通り継続いたします。

(2) 生産終了する事業の2025年3月期における経営成績

売上高 5,061百万円 営業利益 ▲725百万円 生産数量 1,239トン/月

従業員数 56名 (2026年4月1日現在)

※生産終了する事業の売上高が、素形材事業全体に占める比率は約23%、連結売上高に占める比率は約3%です。

(3) 当該事業に属する従業員の処遇

当該事業に関わる従業員につきましては、当社グループ内での配置転換等による雇用継続を予定しております。

3. 生産終了の日程

2027年9月をもってカムシャフト以外の素形材事業の国内生産を終了する予定です。

4. 今後の見通し

本件に伴う当社グループ連結業績への影響等については現在精査中であり、公表すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

以上

【ご参考】

当社の事業ポートフォリオ改革・経営資源再配分の取り組みについては、本日開示しました『子会社であるRCA社によるHastings Holding Corp. 株式の取得について』もあわせてご覧いただくようお願いいたします。